

## 履修方法

## 1. 専門職学位課程 公共経営専攻

- (1) 入試出願時に提出された研究計画書等の内容を基にして、それぞれの学生に対し、入学後ただちに専任教員の中からメイン・アドバイザー1名、サブ・アドバイザー1名を指定する。
- (2) 論文の作成、研究、学生生活全般について、メイン・アドバイザーによる個別指導およびサブ・アドバイザーによる研究指導が行われる。
- (3) 専門職修士の学位を取得しようとする者は、専門職学位課程に2年以上（1年制では1年以上）在学し、所定の授業科目について36単位（1年制では32単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上でリサーチペーパー（1年制政策実践フォーカスはプロジェクトペーパー）の審査および最終試験に合格しなければならない。
- (4) 前項の36単位（1年制では32単位）は通常次の区分によって履修する。

科目区分	修了に必要な所定単位数		
	2年制	1年制	
		政策研究 フォーカス	政策実践 フォーカス
基礎科目 （必修/知識・情報リテラシー）※注1	6単位	6単位	6単位
コア科目	6単位以上	6単位以上	6単位以上
展開科目	任意	任意	任意
実習科目 ※注2	任意	任意	任意
分析ツール	任意	任意	任意
演習 ※注3	8単位	4単位	—
リサーチペーパー ※注4	4単位	4単位	—
プロジェクトペーパー ※注5	—	—	2単位
その他	任意	任意	任意
合計単位数			

（注1）基礎科目のうち「知識・情報リテラシー」の科目については、修了に必要な所定単位数に加えない

（注2）社会人経験（※）のない学生は実習科目のうち「フィールドワーク」もしくは「インターンシップ」を必修とする（2単位以上）

※「社会人経験」とは、下記を満たした後の実務経験（3年以上）を指します。

- ① 大学（学部）の卒業
- ② 大学評価・学位授与機構による、学士の学位の授与。
- ③ 外国において通常の課程による16年の学校教育の修了

（注3）原則的にアドバイザーの担当する演習の取得単位を修了に必要な所定単位数として算入し、サブ・アドバイザーの取得単位については算入しない。

(注4) リサーチペーパーは標準修了年限の最終学期に自動登録され、提出および口頭試問の結果により単位取得の可否を決定する。標準修業年限以降は毎学期自動登録される。

(注5) プロジェクトペーパーは標準修了年限の最終学期に自動登録され、所定の研究指導、中間報告、プロジェクトペーパーおよび審査の決定により単位修得の可否を決定する。単位取得の可否を決定する。標準修業年限以降は毎学期自動登録される。

- (5) 在学中、他研究科に設置された授業科目を選択履修した場合は、10単位を上限として所定の単位に替えることができる。